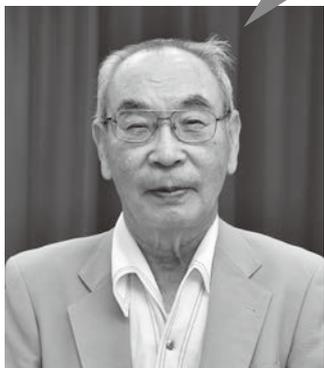




人と人との「つながり」を大切に



鎌田地区町会連合会
会長 押澤鉄三郎さん
(77歳 五月町町会)

- Q 出身
A 松川村出身で30代半ばから五月町に居住。
- Q 日課
A 毎朝5時に起きて、30分ほど散歩をしている。近くの市民農園で野菜作りも楽しんでいる。
- Q 新会長としての重点目標
A 実行力のある「まちづくり協議会」を設立し、防災防犯や福祉に力をいれたい。特に福祉については、民生・児童委員や福祉ひろば、地区生活支援員との連携を図っていききたい。連合会の運営では、皆で議論ができる場にしたい。
- Q 昨今の町会組織の課題
A 薄れていく近所付き合いをどう保っていくかが課題。若い人たちを交え、新しい考えを反映できる機会もつくっていききたい。

キラリ☆
かまだびと③

新任役員と新任職員との紹介
新年度を迎え、地区組織では役員改選があり、新しい職員の配属もありました。「キラリ☆かまだびと」第3回では、新任役員と新任職員の4人に抱負などをお聞きしました。



鎌田地区
令和4年5月1日現在
総人口 19,876人
(前年比 +109人)
世帯数 9,375戸
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

鎌田地区17町会
令和4年度 町内公民館長

- ◎ 竹園代始弘 (高宮)
 - ◎ 横林文雄 (征矢野)
 - ◎ 北澤正博 (笹部)
 - ◎ 鎌倉昌彦 (両島)
 - ◎ 近藤邦人 (鎌田)
 - ◎ 窪田浩 (井川城下区)
 - ◎ 中村芳明 (井川城中区)
 - ◎ 矢ヶ崎和弘 (井川城上区)
 - ◎ 荒井茂一 (中条南)
 - ◎ 桐沢明雄 (中条町)
 - ◎ 新開真 (石芝町)
 - ◎ 坪田秀一 (石芝東)
 - ◎ 川上健治 (昭和町)
 - ◎ 松本正 (月見町)
 - ◎ 高木通夫 (五月町)
 - ◎ 今釜信雄 (南原町)
 - ◎ 中村光一郎 (弥生町)
- ※順不同・敬称略
◎ 会長 ○ 副会長 ☆ 新任

住民が自由に集える
公民館活動を



鎌田地区町内公民館長
会長 竹園代始弘さん
(69歳 高宮町会)

- Q 出身
A 祖父の代から高宮に在住。
- Q 趣味
A スポーツが好きで、週1回の硬式テニスと月2~3回ゴルフをすること。
- Q 新会長としての抱負
A 各町会の課題を出し合い、問題点について議論・解決できる組織でありたい。地区公民館との連携も強くしたい。
- Q こんな町内公民館になってほしい
A 住民が自由に使える場になるようにしていきたい。家族や共通の趣味を持つ同好会活動などで気軽に利用してもらいたいし、小中学生にも来てもらいたい。

まずは地域のみなさんとの
関係づくりから



鎌田地区生活支援員
新村ゆかりさん
松本市が配置を進めてきた地区生活支援員として、4月から鎌田地区に配属。「暮らしの中での困りごとや願いを聞き、その方にあった居場所や人につなぐお手伝いをします」

たくさんの方に
利用してもらいたい



鎌田図書館司書
葭本真子さん
図書館勤務は4年目で、この4月に中央図書館から異動。「笑顔の挨拶を心掛け、親しみやすい雰囲気づくりや利用者に喜んでいただける本の選定を行います」



公民館の今年度事業がスタート

コロナ禍が続いていますが、鎌田地区公民館では感染対策を徹底しながら、今年度の事業が始まりました。なお、公民館主催の講座申込などについては、毎月発行している「公民館だよ」(隣組回覧)をご覧ください。



4月26日 鎌田お宝講座(第8回) 「貞享騒動をたずねて」

江戸時代に松本藩で起きた百姓一揆(貞享騒動)を学ぶ講座が、鎌田地区人権啓発推進協議会共催で開催されました。講師は五月町在住で地域史研究家の田中薫さん。騒動の実像とその後の伝承など、詳細な資料をもとにお聞きすることができました。

貞享3(1686)年、凶作が続く松本藩の米の年貢増徴命令は



過酷でした。中萱村の多田加助を中心に異を唱える大勢の農民が参加した一揆の結果、税率は従来どおりとされますが、主導者たち28人が極刑となりました。その中には笹部村の赤羽金兵衛もいました。

この騒動は後の増徴に歯止めをかけ、実質的に村の自治が実現していく藩政に変わる契機ともなりました。

騒動後も供養塔建立や追善供養など、民衆のために一身を捧げ権力と闘った「義民」たちへの顕彰活動は今に続いています。多様な物語も生まれ、明治時代には民権運動と結びつき歌舞伎化により全国へと広がりました。

時が経ち豊かな時代と思われる現代も、少子高齢化や環境問題など課題は深刻です。貞享騒動は「ウクライナ戦争」とも重なります。300年以上も伝わり続けてきた義民の精神は、人としての生きる権利や平和の尊さを教えています。未来を生きる子どもたちにも、このことを正しく受け継ぎ、伝えていきたいと強く思いました。

4月25日 「歩かまバスハイク」 「花桃の里」

毎月1回、鎌田地区福祉ひろばとの共催で、健康の増進や仲間づくりを目的に鎌田地区内



を歩く「歩こう鎌田健康ウォーキング」(通称・歩かま)を開催しています。

今年度最初の歩かまは、バスで地区外に出て、下伊那郡阿智村にある「花桃の里」へ行きました。雨が心配されましたが、当日は快晴で、5千本の赤白ピンクの花桃が出迎えてくれました。

「満開の花桃を見て感動した」「綺麗な景色を見ながら歩くことができてよかった」と、参加者たちは花桃の美しさに魅せられつつ、楽しく歩きました。

5月7日 好評「松本一本ねぎ 食育講座」

今年も松本一本ねぎ食育講座がスタートしました。昨年から土曜日の開催としたこともあり、家族参加が増え、畑が賑わっています。

11月の収穫を楽しみに、伝統ある松本一本ねぎについて学びながら育てていきます。



雑感

春を告げる花は福寿草や水仙、花木は梅や桜などがある。私の家には、花梅と果実用を各2本植えてあり、3月末に

ようやく満開となった▼百科事典によると、梅は薬用として中国から取り寄せた烏梅(うばい)がある。原産地は中国四川省・湖北省といわれているが、日本の南部地方や台湾にも原生していたようだ▼完熟していない青梅や種子には「アミグダリン」という成分が含まれており、生で食べると中毒を起す恐れがある▼梅には白加賀・豊後・甲州小梅など沢山の種類がある。梅塩漬の際に出来る梅酢は染料としても利用されているほか、食用は梅酒、梅ジャム、煮梅があり、薬用は回虫駆除、咳止め、吐き気止めなどに役立つ▼毎年6月中旬に、梅甘漬けと梅酒を造っている。梅酒の造り方は、梅を一晩水につけてアクを抜き、竹串で穴を開けるとエキスが出やすい。広口瓶に35度の焼酎、氷砂糖を入れておくと、1年程で琥珀色の美味しい梅酒になる。疲労回復効果もあり、時々楽しく飲んでい。 (松本捷幸)